



第74号

2016.1.21

(公社)津法人会 青年部会

津市広明町121番地

津税理士会館4階

TEL(059)225-1302

<http://www1.mint.or.jp/~hojinkai/seinenbu/>

提 言

日本経済を考える。

2008年9月にリーマンショックが起きてから、日本経済は不況・不安がいまだ続いています。わが国経済は、安倍政権が提唱する「デフレ脱却・経済再生」への政策効果により「円安」「株高」が進行しました。また国際面では、近隣国との領有権問題、民族問題の軋轢による国際情勢の不安、電力の安定供給に向けたエネルギーコストの上昇、国内面では東京オリンピック開催に伴う大規模な建設関係の動きが人手不足を地域経済にもたらす影響などのほか少子高齢化、一昨年4月から消費税が8%に上がった影響・反動など不安定要素をかかえた状況がありました。経済政策であるアベ

ノミックスの成否については、未だ議論のあるところではありますが、現状からすれば、少なくとも日本経済は上向きにあるが大企業を中心とする企業だけが影響を受けています。日本経済全体の継続的成長は、今後本格化するアベノミックス第二章に期待し規制緩和に裏打ちされた成長戦略や地方創生を追い風とした、地域に根差した個々の企業の革新と発展に委ねられているのではないかでしょうか。

「順境には節度を逆境には勇気を」順境・逆境これは、仏教の言葉です。こんな時代だからこそ、勇気を持って進みたいと思います。



租税教育活動報告

一身田 小学校

平成27年11月6日に最初の租税教室を一身田小学校5年生145名に実施しました。人数が多くだったので初の体育館での開催で、メンバーも少し緊張していましたが、しん坊君、シロモチ君も駆けつけとても盛り上がり無事終了しました。また当日の模様が中日新聞・伊勢新聞・三重ふるさと新聞に掲載されました。当日の模様は、ZTVさんで放送されました。



高宮 小学校

平成27年11月17日に高宮小学校5年生12名に租税教室を実施。メンバー7名+シロモチ君。児童はみんな

熱心に授業を聞いてくれて、とてもやり易かったです。スムーズに進行ができ、時間内に終わることができました。



平成27年度実施予定

- ・津市立家城小学校 平成28年1月14日（木）
- ・津市立香良洲小学校 平成28年1月20日（水）

藤水 小学校

平成27年11月26日、こちらの学校には11名で参加しました。2クラス合
同の児童数42名です。

クイズでは手が上がりづらい感じでした。シロモチ君のジャンプ回答や“1億円レプリカ”登場時は歓声があがっていました。本などのプレゼントも喜んで受け取ってもらいました。子供達の笑顔と共に租税教育ができて嬉しかったです。



三重大学 教育学部 附属小学校

平成27年11月27日 三重大学
教育学部附属小学校を訪問し、
5年生97名の授業の中で租税
教室を行いました。当日は11
名のメンバーが実施に参加しました。生徒の皆
さんは静かにしっかりと話しに耳を傾けながら
も積極的に質問もしていただきました。教室移
動に時間を要し、時間はやや押しましたが、十
分に内容を伝えることができました。



大里 小学校

平成27年12月3日、青年部
会からの参加者は8名でした。
5年生は1クラスで、児童数
は26名でした。小学校からの
依頼で、シロモチ君の登場はありませんでした。
少しスタートが遅れたこともあり、まとめ
の時間が5分ほどになりました。噛み砕いて
説明する時間が無かったので児童達には難
しかったと思います。まとめ部分は10分ぐら
い必要だと思います。



明合 小学校

平成27年12月4日に明合小学校 5年生22名に租税教室を開催。8名+シロモチ君。

ZTV、三重タイムズさんの取材も入りました、積極的な子供たちはばかりでとてもスムーズに授業が進み、最後のまとめも余裕をもって入る事ができ、理想的な授業が出来ました。

当日の模様はZTVさんで放送されました。

上野 小学校

平成27年12月10日に上野小学校の5年生30名に実施しました。8校目の開催となりました。過去の経験を活かし、予備のPCも用意し早めの準備をして、万全の態勢で臨みました。授業もスムーズに進行し、河芸ということで特別に“ゴーちゃん”も参加（シロモチ君も）し、とても盛り上がりました。

ゴーちゃんは1.2年生の教室にも出向き大歓迎されたそうです。



第29回 法人会全国青年の集い 茨城大会報告

11月19日(木) 租税教育活動プレゼンテーション
11月20日(金) 部会長サミット
記念講演・大会式典

茨城県立県民文化センター
水戸プラザホテル
茨城県立県民文化センター

全国青年の集い茨城大会2日目11月20日の午前中、水戸プラザホテルにて部会長サミットが開催されました。

主催者挨拶、会長講話のあと、「部会員純増成功事例」についてコーディネーターと過去三年間連続部会員純増している単位会部会長2名がパネラーとなってのパネルディスカッションが行われました。内容は、

- ①部会員獲得のために
- ②部会員獲得で苦労したこと
- ③定着のポイント

以上、3点について本音を語っていただき、部会員増強について多くのヒントをいただきました。また、当日の基本資料として全国の部会長あてに回答してもらった「部会員増強のための事前

アンケート」の集計結果が配布されました。

次に各テーブル10名程度の円卓会議が行われました。内容は

- ①部会員時に青年部会に入会して良かったこと
- ②なぜ部会員の獲得が必要か
- ③どうすれば部会員を獲得できるか
- ④どうすれば新入部会員を定着させることができるか

以上、4点です。パネルディスカッションを踏まえてからの会議ということで、活発な話し合いとなり、最後に各テーブルの座長の発表もあり、多くの情報や気付きを得られた有意義時間を過ごさせていただいたと同時に、ここで学んだことを平成28年上旬に行う会員増強活動につなげていかなければと、改めて心に強く感じた瞬間でした。

租税教育プレゼンテーション

本年の租税教育プレゼンテーションでは11チームの発表がありましたが、活動内容は当然のこと、プレゼンテーションにおける画像の作りこみ、発表で聴講者を飽きさせない工夫（対話形式、語り部形式、ステージ上での立ち振舞い）等、発表の10分間で最高のパフォーマンスが發揮出来る様、練りに練られた非常に中身の濃いものでした。

離島が多い地域の子供達を本土に招いて、職業体験を通じて租税教育を実施する、建設業協会と一体になって、公共事業での税金の使われ方を学びつつ、ダイナミックな現場の見学会を実施する、また地元高校生が主体となって運営する小学生対象の球技大会で高校生が税金クイズを出したり税金についての話をを行うといった非常にユニークな試みが印象に残りました。

中でも最優秀賞は「アクティブラーニングを用

いた租税教育」という一見お堅いタイトルですが、中身は何とラップに乗せて租税教室をしてしまうという非常に斬新な企画です。広島南法人会青年部の発表でしたが、地元の高校にラップで古典を教えてしまうという先生がいらっしゃって、この方の協力を仰いでその名も「ラップだ税！」（笑）非常にインパクトの残る活動発表でしたが、照れや恥ずかしさを克服するのに、租税教育を担当された皆様は大変だったことと存じます。

さて、いよいよ我々津法人会青年部も来年の全国青年の集い北海道大会での発表に向けて活動の充実とプレゼンテーションの作りこみに邁進していかなくてはなりません。もう既に残り1年を切っていますが、皆様、何卒ご協力の程宜しくお願ひ致します！

全国大会講演会

津法人会ではおなじみ？のJAXA（宇宙航空研究開発機構）より名誉教授の的川泰宣様をお招きし、「いのちの絆を宇宙に求めて」についての記念講演がありました。

当日は社会貢献の一環として、水戸の小学生280名も招待され、とても活気と笑い声にあふれたものとなりました。

停滞していた日本の宇宙航空技術に大きな夢と希望を与えた「はやぶさ」がどのように絶体絶命の危機を潜り抜けてなぜ地球に帰ってこれたか。

それを支えた技術者と管理者とのせめぎ合いなどについての普通では許されないような裏話があり、原稿を書きながら5年ぶりにエンジンの噴射に再挑戦し、ついに金星の軌道投入に成功した「あかつき」のニュースと重なってとても記憶に残るものとなりました。

きっと「あかつき」にもそのようなエピソードがたくさんあるのでしょうね。

決まったことを決まった通り行うことも大切ですが、技術者がああしたい、こうしたいという意地を張り合っている「やんちゃ」なところに、日本の技術にはまだまだ夢と希望があると感じさせられました。

講演のまとめとして、「ほどほどの貧乏が成功の秘訣」というテーマでのお話がありました。

お金が潤沢にあれば製作、もしくは設計までを私企業に丸投げてしまいそうになるところを、予算不足のためにケチケチ大作戦をとらざるを得ず、結果として細かなことまでJAXAの技術者が製作時に手を出さざるを得なかったことが、機能を隅々まで把握することにつながった。「はやぶさ」の細かな配線など、裏の裏まで知り尽くしたことが奇跡の地球生還につながったことをお聞きし、豊かになった自分の身の回りをもう一度見直してみようという良い機会をあたえて頂きました。

第30回 法人会 全国青年の集い 北海道大会 2016年 9/8木▶9金

津法人会は、平成28年9月8日、名古屋局連を代表して、租税教育活動のプレゼンテーションを行ないます。たくさんの部会員で参加しましょう。

9月例会

『KJYとFYK』

日時：平成27年9月3日(木) 18:30~20:00 場所：東洋軒

講 師 津税務署 署長 池田 永 氏



自身の国税不服審判所に長く勤務した経験について、タレントのDAIGOが使用して広く知られこととなったKY語が国税庁内においても多く通用しているということを挙げながら、楽しい講話となりました。課税処分における苦情（KJY）

や法律上の不服（FFK）の違いについて、苦情は原因に関して謝罪をする場合があるが、課税処分の内容に変わりはなく、不服については課税処分について変更がありうることなど、わかりやすくお話をいただきました。

県連・青年部会連絡協議会 情報交換会

日時：平成27年11月6日(金) 15:00～ 場所：椿大神社（椿会館）

平成27年11月6日、「県連・青年部連絡協議会 第28回情報交換会」が椿大神社内にて行われた。情報交換会では鈴鹿法人会青年部会の現況報告と、椿大神社宮司の山本様による講演があった。「笑顔に勝る化粧なし」と話されたことが印象に残っている。またオプションとして、みそぎ修法会（滝行）があった。津法人会青年部は5名で滝行に挑んだ。

幻想的な風景だった。椿大神社境内の金龍明神滝は、足元や岩場に置かれた蠟燭の光を反射させていた。周囲の木も薄っすらと紅葉しており、風に揺られて様々な形の影を作っていた。どこか怪しさを感じさせるこの滝には神が在ると感じさえもした。ただ、すぐに滝に入れると言うわけではなかった。

本殿内部でお払いをしてもらい、白樺と鉢巻に着替え滝の前に来たが、そこでも一種のルーティンのようなものがあった。指先で空を切りながら

の気合や、舟を漕ぐような動作などを繰り返した。どれもしんどいというものではなく、寒さも感じなかつたが、早く滝に打たれたかった。

打たれるときがやってきた。水は冷たかったが肩こりには良さそうだなと思った。「～、六根清淨」と唱えながら滝に打たれた。前半の「～」は何と言っていたか忘れてしまった。「六根清淨」は後日調べた。人間に具わった六根を清らかにすること。六根とは五感と第六感とも言われる意識のことと記されていた。心が清らかになったかどうかは分からない。

滝行が終わったあと懇談会があった。津法人会以外の面々との会話は新鮮だった。各会、色々な取り組みをしていた。また、仕事の話でも繋がりがあった。こうして人の輪が広まっていくのは、なんとなく自分も成長していく気がして嬉しい。そう言えば、料理の中におでんがあった。あのおでんは温まったなあ。

親睦ボウリング大会

日時：平成27年8月5日(水) 18:00～

場所：津グランドボウル



平成27年8月5日、恒例のボウリング大会が本会・青年部会共催により津グランドボウルにて開催されました。

参加者は85名（内子供14名）。

平日にもかかわらずたくさんの方にご参加いただきました。

竹林会長、友清副会長、菅内厚生委員長、山路青年部会長4名の始球式を皮切りに、会員はもちろん、ご家族、会員企業の社員さまが楽しく交流を図りながら、栄光の優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。

ボウリング終了後は、東洋軒のおいしい料理をいただきながら表彰式と懇親会が行われました。

表彰式は上位者だけでなく、とび賞、ブービー賞と各々、豪華賞品が贈呈され、ボウリング大会の熱気そのままに大いに盛り上りました。

さらに子供たち全員にお菓子の詰め合わせプレゼントもあり、たくさんの笑顔が見られた一日でした。

今年も多数の企業様よりご協賛をいただき、本当にありがとうございました。

日頃のストレス、運動不足解消を兼ねつつ、企業間交流、社内交流、家族のコミュニケーションを図れる恒例のボウリング大会。

今年の親睦ボウリング大会も、たくさんのご参加よろしくお願ひいたします。

12月例会

日時：平成27年12月3日(木)

『忘年会』

19:00～

場所：新玉亭

平成27年12月3日（木）新玉亭にて、12月例会「忘年会」を開催いたしました。

当日は師走のお忙しい中、総勢39名にお集まりいただきました。

はじめに、山路会長から茨城県で行われた租税教育発表の報告等があり、平成28年度北海道で開催されます全国大会に向けての意気込みや協力に対し感謝のお言葉をいただきました。

そんな中、2015年の締めくくりとなります忘

年会は、美味しいお食事と楽しいゲームで親睦を深めました。

委員会対抗のゲームでは、各チームが賞品を狙つての真剣勝負で大変盛り上がることができました。優勝は厚生委員会でした。

終始リラックスした和やかなムードの12月例会の忘年会となりました。ご参加いただきました会員のみなさんをはじめとして、ご協賛頂いた企業の方々ありがとうございました。



青年部会

日時：平成27年11月25日(水)

親睦ゴルフコンペ

場所：三重フェニックスゴルフコース

息が白くなった平成27年11月25日に「青年部会第2回親睦ゴルフコンペ」が「三重フェニックスゴルフコース」で開催された。第1回時は20名を超える参加があったが、今回は7名での開催だった。

今回がデビューラウンドという者もいたが、2組ということもあり、気兼ねなくプレー出来たのではと思う。ドラコン、ニアピンといった賞も準備して頂いていた。参加者が少なかった分、チャンスも多くあると思っていたのだが、気のせいだった。しかしながら順位の賞品の他に、「大波賞」や「O B賞」、「レディース賞」、「部会長賞」など

も作って頂いており、全員が何かしらの賞品を受け取った。僕も「早く来たで賞」を貰った。ありがとうございます。

午後から雨との予報だったが、プレー中には降らず、着替えている時に降ってきた。皆様の日頃の行いのおかげです。プレー中は笑いの絶えない和気藹々としたものだった。今回欠席された皆さんも、次回は一緒にプレーしましょう。

前回終了時に、次は1打当たりの単価が高いゴルフをしようと思っていたが、いつもと変わらず安価なスコアだった。次こそは。

やっばり いきいきはげみ! 第24回

「そうだ 熊野、行こう。」その②

前回の「そうだ 熊野、行こう。」(その1)に引き続き、車は海岸部から山間部へと移動していきます。因みに、なぜ「そうだ 京都、行こう。」ではなく「そうだ 熊野、行こう。」となったかは、前回の(その1)を御覧下さい。もちろん、車内でのBGMはMy Favorite Thingsですが、やはり熊野の険しい山道にはラテンビートが似合うということで、聞こえてくるのは、「熱帯JAZZ楽団」バージョンとなっています(笑)

さて、国道42号線を紀宝町から御浜町まで戻り、県道739号線を進みます。田んぼに囲まれたのどかな風景が暫く続きますが、段々と山が険しくなってきます。暫くすると国道311号線へ突き当たりますので、今度はこの国道を進んで行きます。こちらはドライブするには本当に快適な道で自ずとスピードも上がりますが、その快調さに気付く頃には既に皆様がイメージされる「熊野の険しい山々」の中に入っています。快適なドライブの途中、県道40号線との分岐点が見えてきますので、今度はこの県道を進んで行きます。

先程までの快適さとは全く逆の非常にタフな細い山岳道路になりますが、深い木々に囲まれた幾つもの非常に急なコーナーを抜けると、一挙に視界が開けます。そう、その目の前に広がるのは非常に有名なあの「丸山千枚田」です。何と素晴らしい眺めでしょう！実際には余りの高低差に足がすべりむ程です。

この「丸山千枚田」は西暦1601年頃には既に2,240枚もの田があったという記録がありますが、平成初期には530枚まで減少してしまいました。地元住民の皆様が「この貴重な文化遺産を自分達の代で無くすわけにはいかない」と立ち上がり、丸山千枚田保存会を結成し、復元と保全活動がはじまりました。現在は1,340枚の田がありますが、一人でも沢山の方に千枚田を理解頂き、一緒に保全活動を行ってもらいたい趣旨のもと、オーナー制度の運営を行っており、農作業、伝統行事（虫おくり）等に沢山の一般の方々も参加されています。皆様もオーナーになってみませんか？毎年2月に募集が行われています。

さて、「丸山千枚田」の壮大な風景を眺めながら（わき見運転注意！）車はさらに県道40号線を進みます。すると、途中に「赤木城跡方面」の案内がありますので、左折してそちらへ向かいます。暫く進むと到着しますが、車を降りて小道を登ること徒歩2分ぐらいで「赤木城」があったという場所（石垣

が若干現存する平地）にたどり着きますが、その眺めは殆ど「天空の城ラピュタ」です！空が近い！山が深い！（実は標高230m程度の場所なのですが、山が深いので非常に空が近く感じます）もうあまりの凄さに時間が経つのを忘れそうですが、何とこの「赤木城」藤堂高虎が築城したものだそうです。藤堂高虎は11年程この付近に滞在しており、紀州攻めの拠点として築いたとのこと。築城の名手として非常に有名な高虎公ですが、まさかこんな険しい山間部にまで出向いていたとは知りませんでした。

素敵な眺めを惜しみつつ、車は県道765線、そして再び国道311号線へと進めて行きます。

北山川を渡る頃になると、今度は壮大な川の流れを随所に見ることができます。川がほぼ360度ターンしている風景の写真を御覧になったことがありますか？あの素晴らしい景色はここ熊野川町鳴津（和歌山県新宮市です）という地域で撮影されたものです。残念ながらあの写真の景色は車道からは見えず、山道を一時間程歩いた高台でのみ見ることができます。ですが、地元の鳴津観光協会ではこの高台を案内してくれるツアーを開催しています。私も必ず近いうちにこのツアーに参加して、自分の目での風景を見ることを楽しみにしています。

さて、壮大な川の流れを横目で見ながら更に国道311号線を進みますが、この辺りは同じ311号線でも恐ろしく狭くて険しい道路になっており、運転もかなり冷や汗ものです。何度も台風や大雨の度に崩落している道路で、復旧工事が非常に長い期間続いていました。

三重県、和歌山県、奈良県が入り組んでいる地域ですので、自分が何県に居るのかさっぱり分からなくなっていますが、険しい山から垣間見える北山川の流れは本当に絶景です！

本来であれば、ここから国道169号・168号と奈良県十津川村の方へ車を進め十津川温泉に浸かりながら一泊したいところですが、日帰りツアーのためここで断念。

後ろ髪を引かれる思いで帰途につきましたが、次回「そうだ 熊野、行こう。」(その3)に乞うご期待！次回は、鳴津の絶景、十津川温泉、そして玉置神社を巡る予定です。

